

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディスイシンキョウギカイ
 団体名 岡山市京山地区E S D推進協議会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域 (小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業 実 施 内 容	・年間を通して「やさしく走ろう京山」運動の実施状況の報告と啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布やのぼり旗の設置を行った ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は、今年度初めて、伊島小学校、津島小学校の4年生の交通安全教室で行った。その後、啓発プレートを配布した4年生の保護者対象に、啓発プレート装着状況についての意識調査を行った。 ・昨年、京山中学校生徒から提案のあった、啓発プレートのデザインの改訂を行い、その後は京山中学生デザインのプレートを京山中学自転車通学生の1年生を始め配布を行った。このプレートのデザインを応募してくれた中学生に感謝状の贈呈を行った。 ・「京山地区地域安全パトロール隊」で、参加団体(地区内にある公立の保育園(伊島)、幼稚園(伊島・つしま)、小学校(伊島・津島、ノートルダム清心)、中学校(京山)、高等学校(岡山工業、明誠学院、鳥城高校)、大学(岡山大学、岡山商科大学)の各教育機関、伊島学区・津島学区の交通安全対策協議会、安全安心ネットワーク、連合町内会、コミュニティー協議会、交通安全母の会等の団体と進行状況の報告、協議、運動への協力依頼を行ってきた。また、これらの団体と協力して交通安全街頭行動、自転車マナー教室も共催した。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の発信を続けた。 ・昨年度第11回京山地区E S Dフェスティバル「地域の絆プロジェクト」で出た、用水路などの危険個所について調査・検討を行い、岡山市の担当者との話し合いも行った。すぐに改善をして頂いた個所や今後の改善を約束して下さった箇所も多数ある。

事業目的とその達成状況と効果	・「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の課題です。京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の話合いの中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く出され、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指しました。 ・運動の主体として「京山地区地域安全パトロール隊」参加の各団体に呼び掛け、「やさしく走ろう京山」運動企画委員会を結成しました。第11回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の議論で警察署、区役所、市役所の交通関係の担当の方などを交えて運動の成果と課題、京山地区の危険個所について話し合いました。その時出た内容を元に今年度の運動を組み立てていきました。 ・この問題はもちろんのこととして、すぐに大きな成果をあげることができないのは目に見えています。しかし、「やさしく走ろう京山」運動を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両とも誰もが安心して通行できる地域になることを、期待し運動を続けていくことが何よりも重要と考えています。「この運動はいい運動なので是非に続けていってもらいたい」との声をたくさん聞いています。この声に励まされて、運動を続けていっています。 ・昨年度よりのぼり旗の設置を増やしたり、昨年1,200枚、今年度330枚啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布し、地域関係者の自転車に付けられことによって、人びとの意識は大いに向上されました。 ・昨年度は小学生への配布時期を逃したために、今年度初めて、自転車の乗り方教室や自転車運転免許が配布される伊島、津島小学校4年生に啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布しました。 ・子ども用の自転車には啓発プレートが付けにくいことが指摘され、その装着状況を調査するために「「やさしく走ろう京山 自転車プレート」追跡調査アンケートを小学校4年生の保護者にお願しました。その結果、4年生が装着しているのは4割にとどまりましたが、「今後、子どもの自転車を新調したときに付ける」「保護者や家族が付ける」と回答された方が8割いました。この運動が広がっているのが感じられました。 ・交通問題は、地域住民でないとできないこと、行政でないとできないことがあります。地域住民でないとできないこの運動を今後とも広げていく必要があります。
企画などの工夫と情報公開	・今年は、昨年度、京山中学生から意見が出ていたデザインの変更を行った。京山中学にデザイン募集の呼びかけを行い、42名から応募があった。その中から、最優秀の作品を「新啓発プレート」として作成し、京山中学1年生の自転車通学生などに配布し、若い人たちにも抵抗なく付けるように呼びかけている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で地域の住民、生徒に配布する活動を行いました。 ・「地域の絆プロジェクトだより」を年4回、京山学区の全戸に各町内会の協力を得て配布しました。このだよりには、「やさしく走ろう京山」運動の目的、意義、願い、さらに、啓発プレート「やさしく走ろう京山」の宣伝をほぼ毎号掲載しました。 ・ESDフェスティバルでの「地域の絆プロジェクト」では、地域の方や大学生が集まり、今後の活動を話し合うとともに、自転車マナーの向上をどう呼びかけていくかを話し合いました。

次年度計画	・「やさしく走ろう京山」運動を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になることが期待されます。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は次年度作成予定分と合わせると約1,900枚になります。このプレートが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域の人びとの意識はますます向上し、自転車問題についての関心も高まっていくことが期待されます。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも期待されます。 ・成果の確認は、京山地区ESDフェスティバルなどで、アンケートや話し合いなどで地域の方々に直接聞いて行います。 ・自転車のマナー問題を話し合っていくなかで、参加者の意識はどんどん向上していき、あらゆる角度から安全面についても話が及ぶようになりました。そこで本年度は、「すぐできる やさしい自転車運転 10カ条」（仮称）を作成し、配布、広報していく。 また、啓発プレートと合わせて作成したのぼりが大きな効果があったので、次年度ものぼりを作成し、その危険箇所に設置することにより地域の皆さんに意識していただき危険を回避する有効な手段にしていきたいと考えています。 ・昨年度は新規の申請という事で4/5の補助金を頂きましたが、今年度以降は1/2の補助金になります。主催者団体に財政的な余裕はなく、ぎりぎりの予算をこの運動にまわしています。その都合で、運動の縮小を余儀なくされています。
事業実施者としての評価・感想など	・この運動は、ESD活動（京山地区発案の「えーものを子孫の代まで」）の中で「この京山地域の課題は何か」、その地域課題をどうしたら解決できるか、解決の方向に向かわせることができるかの議論の中で必然的に生まれてきたものです。 ・自転車マナー問題は持続可能な社会をめざすためには、どの地域にとっても共通の、そして永遠の問題です。その中で、どんな方法がよいのか。どうすれば、どのような効果が生まれるのか。そのための経費をどのように生み出していくのか、すべて、試行錯誤を繰り返す運動だと考えています。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を付けていく運動は、自分をまわりから守ってくれるとともに、自分自身の自転車マナー向上に役立つことが実証されたと感じています。 ・この運動へ、生徒・学生等の若年層の主体的な参加を促すということについては大変困難を感じています。世代間交流を進めながら少しでも前進させたいものだと考えています。 ・地域活動を行う場合に運動の主体となる団体に十分な財政的な裏付けがない場合が多いのではないのでしょうか。私たち京山地区ESD推進協議会もこれ以上の財政的な余裕はありません。今年度、補助金をいただいての、この啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布を中心とした運動は、労力の点、財政の点において精一杯の活動であったと思います。

図事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
伊島学区交通安全対策協議会	協働で活動
津島学区交通安全対策協議会	協働で活動
京山地区地域安全パトロール隊	協働で活動
伊島学区連合町内会	協働で活動
津島学区連合町内会	協働で活動
伊島学区コミュニティー協議会	協働で活動
津島学区コミュニティー協議会	協働で活動
伊島学区交通安全母の会	協働で活動
津島学区交通安全母の会	協働で活動
伊島学区老人クラブ	協働で活動
津島学区老人クラブ	協働で活動
岡山市立京山中学校	懇談者
岡山県立岡山工業高校	懇談者
岡山大学 本部	懇談者
岡山大学 教育学部学生	懇談者
岡山ヤクルト販売株式会社	協働で活動
株式会社 チヂキ	協働で活動

収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	70,000	70,000	
負担金	40,000	40,000	岡山市京山地区ESD推進協議会
協賛金	20,000	40,000	津島学区交通安全対策協議会などより
寄付、他収入	10,000	0	
計	140,000	150,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
消耗品費	120,000	148,327	啓発プレート、のぼり、地域の絆 だより用紙代
印刷製本費	20,000	0	
通信運搬費	0	1,673	企画委員会案内状郵送切手代
計	140,000	150,000	



■事業実施経過

年 月 日	内 容
平成28年4月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
4月21日	伊島小学校 交通安全教室
4月18日	京山地区地域安全パトロール隊
5月10日	地域の絆プロジェクト企画委員会
5月16日	京山地区地域安全パトロール隊
6月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
6月 2日	津島小学校 交通安全教室
6月 7日	京山中学校 「新プレートデザイン募集要項」配布
6月20日	京山地区地域安全パトロール隊
6月21日	地域の絆プロジェクト企画委員会
7月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
7月25日	京山地区地域安全パトロール隊
8月 9日	地域の絆プロジェクト企画委員会
8月22日	京山地区地域安全パトロール隊
8月25日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会
8月30日	新啓発プレート決定
9月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
9月 8日	地域の絆プロジェクト企画委員会
9月20日	伊島小学校、津島小学校へ プレートについてのアンケート配布
9月26日	京山地区地域安全パトロール隊
9月29日	自転車の交通ルールとマナー教室
10月 4日	地域の絆プロジェクト企画委員会
10月17日	京山地区地域安全パトロール隊
	伊島小学校、津島小学校へ プレートについてのアンケート回収
10月18日	京山中学 新プレート配布
10月28日	区づくり 中間報告提出
11月 8日	地域の絆プロジェクト企画委員会
11月17日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル実行委員会①
11月21日	京山地区地域安全パトロール隊
12月 1日	第12回ESDフェス実行委員会② 「だより」発行
12月 8日	地域の絆プロジェクト企画委員会
12月13日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル実行委員会③
12月26日	京山地区地域安全パトロール隊
平成29年1月10日	地域の絆プロジェクト企画委員会
1月13日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル実行委員会④
1月23日	京山地区地域安全パトロール隊
1月26日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル実行委員会⑤
1月28日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル(29日も)
1月29日	新プレート感謝状贈呈式 「やさしく走ろう京山」運動企画委員会
2月14日	地域の絆プロジェクト企画委員会
2月24日	第12回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル実行委員会⑥
2月27日	京山地区地域安全パトロール隊
3月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
3月10日	平成28年度岡山市京山地区ESD推進協議会役員会
3月14日	地域の絆プロジェクト企画委員会
3月27日	平成28年度ESD推進協議会総会・京山地区地域安全パトロール隊